

成果と課題及び指導改善のポイント

小学校国語（小学4年生、小学5年生、小学6年生）

小学4年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆) 及び 出題の趣旨

◇ 敬体と常体の違いに注意しながら書く	設問2五
◇ ことわざの意味を知り、日常生活で用いる	設問2七
◆ 中心となる語や文を見付けて要約する	設問3一
◆ 叙述を基に文章の内容を把握する	設問3三

小学5年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆) 及び 出題の趣旨

◇ 図表を用いて書き表し方を工夫する	設問2二
◇ 慣用句の使い方を理解する	設問2四
◆ 文章全体の構成を捉える	設問3四
◆ 要旨を把握する	設問3五

小学6年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆) 及び 出題の趣旨

◇ 立場や意図を明確にしながら考えをまとめる	設問1一
◇ 聞いた事柄を基にして確かめたい点を質問する	設問1二
◆ 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する	設問2二
◆ 文章全体の構成を捉える	設問4一

小学校国語の課題に対応した指導改善のポイント（☑していきましょう。）

■ 説明的な文章を読み、要約したり、文章全体の構成を捉え要旨を把握したりすることや、引用に関する設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。

□ 説明的な文章において、中心となる語や文を見付けて要約することができるようにするために、繰り返し出てくる言葉に着目させたり、字数制限を設ける等の条件を示したりして要約する活動を設定している。

□ 説明的な文章の要旨を把握させるために、「はじめ・中・終わり」などの文章全体の構成はどうなっているか、問いと答えがどこに書かれているか、筆者の主張を根拠付けるための事例がどのように用いられているか等、話し合ったりまとめたりする活動を設定している。

□ 調べたことをまとめる際、引用したり出典を示したりする場面を、適宜設定している。



正答表とセットになった「指導改善のポイントが分かる資料」も、併せてご覧ください。

集計結果 ※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
県	7,131	58.5	4.6	60.6	▼

※ 県の結果には、「未習：１なし」かつ「集計対象：１対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準	到達状況
				県		県		
学習指導要領の 内容・領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	3		53.1		6.5	63.3	▼
	情報の扱い方に関する事項	1		64.3		0.7	60.0	
	我が国の言語文化に関する事項	1		92.0		1.5	60.0	
	話すこと・聞くこと	4		65.6		1.0	60.0	
	書くこと	4		70.3		2.5	62.5	
	読むこと	4		33.7		10.5	57.5	▼
評価の観点	知識・技能	5		63.1		4.3	62.0	
	思考・判断・表現	12		56.6		4.7	60.0	▼
問題形式	選択式	11		63.9		3.3	62.7	
	短答式	3		59.8		6.9	63.3	▼
	記述式	3		37.5		6.9	50.0	▼

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等					評価の観点			問題形式		正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
		言語の特徴	情報の扱い方に関する事項	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	県	県			
1	一	相手に伝わるように理由を挙げて話す			○			○		○			81.2	0.4	70		
1	二	必要なことを質問しながら聞く			○			○		○			73.9	0.4	60		
1	三	目的に応じて必要な内容を記録する			○			○		○			62.5	0.5	60		
1	四	目的を意識して、伝え合うために必要な事柄を選ぶ			○			○			○		44.8	2.6	50	○	
2	一	書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考える				○		○		○			79.3	0.5	70		
2	二	自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する				○		○		○			69.2	0.6	60		
2	三	引用の仕方を理解する	○					○		○			64.3	0.7	60		
2	四	文脈に即して漢字を正しく使う「登ったり」	○					○			○		66.8	4.0	60		
2	五	敬体と常体の違いに注意しながら書く				○		○			○		87.4	3.8	70		
2	六	集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする				○		○			○		45.6	5.2	50	○	
2	七	ことわざの意味を知り、日常生活で用いる		○				○		○			92.0	1.5	60		
3	一	中心となる語や文を見付けて要約する				○		○			○		22.0	12.9	50	○	
3	二	段落相互の關係に着目しながら内容を把握する				○		○		○			30.3	7.6	60	○	
3	三	叙述を基に文章の内容を把握する				○		○			○		25.3	13.1	60	○	
3	四	互いの感じたことや考えたことを理解し、一人一人の感じ方に違いがあることに気付く				○		○		○			57.3	8.5	60	○	

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点				問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			言語の特徴	情報の扱い方に関する事項	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式		県		県		
3	五	主語と述語との関係を理解する	○						○			○				47.6		7.2	70	○
3	六	修飾と被修飾との関係を理解する	○						○			○				44.8		8.3	60	○

集計結果 ※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
県	7,048	58.4	3.3	56.5	

※ 県の結果には、「未習：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準	到達状況
				県		県		
学習指導要領の 内容・領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	3		72.4		4.1	56.7	
	我が国の言語文化に関する事項	1		81.0		1.4	60.0	
	話すこと・聞くこと	4		59.3		0.8	55.0	
	書くこと	5		54.4		3.5	54.0	
	読むこと	4		46.5		5.6	60.0	▼
評価の観点	知識・技能	4		74.5		3.4	57.5	
	思考・判断・表現	13		53.5		3.3	56.2	▼
問題形式	選択式	12		64.2		1.7	59.2	
	短答式	2		60.3		7.4	60.0	
	記述式	3		34.0		7.0	43.3	▼

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等					評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			言語の特徴	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式		県		県		
1	一	目的や意図に応じて日常生活の中から話題を決める		○				○			○				71.2		0.3	60	
1	二	司会の役割を果たしながら話し合いを進める		○				○			○				41.6		0.3	60	○
1	三	聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を質問する		○				○			○				79.2		0.3	60	
1	四	話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる		○				○				○			45.3		2.4	40	
2	一	自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する			○			○			○				60.3		0.5	60	
2	二	図表を用いて書き表し方を工夫する			○			○			○				83.5		0.5	60	
2	三	資料から、必要な語句を引用する			○			○			○				40.2		1.5	50	○
2	四	慣用語の使い方を理解する	○					○			○				81.0		1.4	60	
2	五	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える			○			○				○			40.8		7.6	40	
2	六1	文脈に即して漢字を正しく使う「置いた」	○					○				○			73.4		7.3	60	
2	六2	送り仮名に注意して、漢字を文章の中で正しく使う	○					○			○				71.0		2.2	50	
2	七	相手や目的を意識した表現になっているか確かめ、文を整える			○			○				○			47.1		7.5	60	○
3	一	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する				○		○			○				63.9		2.4	70	○
3	二	語句を文章の中で正しく使う	○					○			○				72.7		2.7	60	
3	三	文章と図表を結び付けて読む				○		○			○				61.7		4.1	60	

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等						評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			言語の特徴	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと		知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式		県		県		
3	四	文章全体の構成を捉える				○			○			○				44.5		4.9	60	○
3	五	要旨を把握する				○			○				○			15.8		11.1	50	○

集計結果 ※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
県	7,012	66.1	3.0	60.5	

※ 県の結果には、「未習：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準	到達状況
				県		県		
学習指導要領の 内容・領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	5		58.4		4.9	64.0	▼
	話すこと・聞くこと	4		83.9		0.3	57.5	
	書くこと	5		61.7		1.6	58.0	
	読むこと	5		63.9		4.6	62.0	
評価の観点	知識・技能	5		58.4		4.9	64.0	▼
	思考・判断・表現	14		68.8		2.3	59.3	
問題形式	選択式	9		75.3		0.6	62.2	
	短答式	6		58.1		5.4	63.3	▼
	記述式	4		57.3		4.6	52.5	

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等					評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
		言語の特徴	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと		知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式		県		県		
1	一	立場や意図を明確にしながら考えをまとめる	○				○			○				94.6		0.0	60	
1	二	聞いた事柄を基にして確かめたい点を質問する	○				○			○				92.1		0.0	60	
1	三	司会の役割を理解し、話し合いを進める	○				○			○				80.5		0.2	60	
1	四	話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる	○				○				○			68.4		0.9	50	
2	一	文章の構成を考える		○			○			○				57.6		0.1	60	○
2	二	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する		○			○				○			33.2		4.8	60	○
2	三	集めた材料を関係付ける		○			○			○				82.2		0.6	60	
2	四	図を用いて、自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫する		○			○			○				91.7		0.2	60	
2	五	目的に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する		○			○				○			44.1		2.3	50	○
2	六1	文脈に即して漢字を正しく使う「計り」	○				○				○			47.3		1.6	60	○
2	六2	文と文との接続の関係を理解する	○				○				○			58.1		6.4	60	○
3	一	日常よく使われる敬語を理解する	○				○			○				55.5		0.3	70	○
3	二	描写を基に、登場人物の相互関係を捉える			○		○			○				75.4		2.3	70	
3	三	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる			○		○				○			70.6		4.4	60	
4	一	文章全体の構成を捉える			○		○			○				48.1		1.9	60	○

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等						評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			言語の特徴	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと			知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式		県		県		
4	二	目的に応じて、必要な情報を見付ける			○				○			○				79.1		3.2	70	
4	三	文章の要旨を把握する			○				○				○			46.1		10.9	50	○
5	一	主語と述語との関係について理解する	○						○			○				53.8		8.1	60	○
5	二	比喩の表現の工夫に気付く	○						○			○				77.3		8.1	70	